

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために

北海道大学 大学院環境科学院 大気海洋物理学・気候力学コース

【現状】

- ウイルスの感染経路は
 - A) 接触感染: 感染者がウイルスのついた手で触ったもの(ドアノブなど)に、触り、その手で口や目や鼻を触ること等により感染。
 - B) 飛沫感染: 感染者のくしゃみ、咳、唾等とともにウイルスが放出され、それを吸い込むことにより感染。
 - C) エアロゾル感染(マイクロ飛沫感染): 同上、ただし、粒径が小さく、1時間以上空気中を漂うことがある。
- これまでのデータから、換気が良くない閉鎖空間で複数人が一定時間、手を伸ばせば触れる距離間で会話をするような機会が危険であることがわかっている。

【皆さんへのお願い】

- 新入生を迎え、歓迎会等を行いたいところではありますが、全て中止します。研究室(居室)ごとの歓迎会等も中止して下さい。不特定多数の人が集まる居酒屋やパブ等の飲食店での懇親会などは特に避けて下さい。
- 熱っぽい、咳が出る、喉が痛い等の風邪症状や嗅覚・味覚障害が少しでもある場合には、大したことはないと思っても、躊躇なく欠席し、自宅で待機して下さい。その場合は、(仮)指導教員にメールで連絡を入れてください。本コースでは、欠席した場合にも授業について行けるように対応しますので、必要な場合には、当該授業担当教員に連絡して下さい。
- 研究室(居室)では十分な換気に努めて下さい(窓を開放し続けるか、締めている場合には1時間毎に5~10分程度は開放)。
- 研究室(居室)等で会話をする場合には、換気を良くし、1m以上距離を空けて、できるだけマスクをして下さい。また、口角泡を飛ばすような激論は決してしないで下さい。なお、口鼻からの飛沫防止にはハンカチ等を用いた手作りマスクでも効果があります。
- 講義、演習に出席する際には、前・後ともに石鹸・ハンドソープで手を洗うこと、できるだけマスクをすること、をお願いします。
- 手洗いを励行するとともに、休日等での外出に際しても、屋内の人混み等、感染リスクの高そうなところはできるだけ避けて下さい。

(感染から自分の身を守ることが、大学の仲間たちを守ることにつながります)

【発症時の対応】

○自身の体調を管理し、風邪の症状や発熱(37.5度以上)がある場合には自宅で療養してください。一人暮らしの人は事前に数日分の食料を確保しておくことが望まれます。

○現在、政府は風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている場合には電話をして受診をすることを推奨しています。その際は「帰国者・接触者相談センター(保健所)」(TEL:011-272-7119)に連絡し、その指示に従ってください。医療機関を受診する際は、できるだけマスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診ください。

○指導教員にもメールで連絡してください。

○新型コロナウイルス感染症蔓延を予防するため、皆さま一人一人の責任ある行動をお願いします。

北海道大学のページ：**【注意喚起】** 新型コロナウイルスへの対応について

<https://www.hokudai.ac.jp/news/2020/01/post-622.html>

